



研究業績一覧（著書、学術論文、その他）

掲載した業績は、『年報』・『調査研究資料』など、2003・2004年度を中心にしたCOE関連の論文です。

*なお、『年報』と『調査研究資料』は、本プログラムが刊行した『年報 人類文化研究のための非文字資料の体系化』、調査研究資料1『環境と景観の資料化と体系化にむけて』をそれぞれ略称したものです。

1班

福田 アジオ	「歴史のなかの民俗・民俗のなかの歴史」『歴史民俗資料学研究』第9号、35-43、2004年 「生活画像資料と文献書誌データベースの作成」『年報』第1号、6-12、2004年、 「画像資料としての素人絵 生活絵引き編さん資料としての可能性」『年報』第2号、1-16、2004年
菊池 勇夫	「荷を負うアイヌの姿 菅江真澄の絵から」『年報』第1号、13-19、2004年 「鷹の捕獲技術について 江戸時代の北日本を中心に」『年報』第2号、110-124、2004年
君 康道	「東京大学AIKOMの現状」『IDE 現代の高等教育』第453号、民主教育協会、27-32、2003年
金 貞我	「申潤福筆『蕙園傳神帖』について 朝鮮時代の風俗画にみる女性像」『年報』第2号、17-35、2004年
小馬 徹	「「さかい」の論理と「あいだ」の論理 言語の人類学的側面」『歴史と民俗』第20号、49-78、2004年、 「ケニアの勃興する都市混合言語、シエン語 仲間言葉から国民的アイデンティティ・マーカへ」『年報』第2号、125-135、2004年
佐々木 睦	「龍王太子考」東京都立大学中国文学研究室編『人文学報』352号、1-24、2004年 「火龍太子考」中国人文学会編『饗饗』第12号、57-75、2004年
鈴木 陽一	「中国の画像についてのノート」『年報』第1号、20-23、2004年
ジョン・ボチャラリ	「『絵巻物による日本常民生活絵引』英訳の課題と問題点」『年報』第1号、1-5、2004年
田島 佳也	「蝦夷地の鯨漁業と文化財」『月刊 文化財』第493号、34-37、2004年
中村 ひろ子	「喪服の近代」日本生活学会編『衣と風俗の100年』、ドメス出版、242-270、2004年
西 和夫	「1枚の写真と23枚の絵 東京下落合の歴史を探る」『年報』第2号、62-73、2004年 「棟札・絵画史料等による益富家住宅建設年代の検討」『日本建築学界学術講演梗概集』、171-172、2004年（共著）

2班

川田 順造	『人類学的認識論のために』岩波書店、2004年 「感性の諸領域、とくに匂いの文化についてのフランス南部と西アフリカ3カ国での初次的調査」『年報』第1号、27-35、2004年 「メキシコと内蒙古住民の身体技法についての調査の初次的報告 人力運搬法と座法を中心に」『年報』第2号、219-238、2004年
芦澤 玖美	“Prediction of adult stature for Japanese population: an improvement of Ali-Ohtsuki equations” Anthropological Science 112(1), 61-66, 2004 (共著)
落合 一泰	「文化を受け継ぐ マヤ民族学への誘い」八杉佳穂編『マヤ学を学ぶ人のために』、世界思想社、165-187、2004年
夏 宇継	「日中文化の比較」、東京都南多摩高校（講演会発表）、2004年
楠本 彩乃	「足の形状特性」『生業活動に伴う身体技法と体形の関連性に関する研究』（平成12～15年度科学研究費補助金研究成果報告書）63-70、2004年
河野 通明	「長谷川雪旦筆『四季耕作図屏風』の基礎的検討」『国立歴史民俗博物館研究報告』第117集、269-302、2004年 「東北地方の木摺臼の全域調査 身体技法から日本列島の民族的多様性を検出する試み」『年報』第1号、36-45、2004年 「在来農具の分布から見た東北地方」『年報』第2号、94-109、2004年
廣田 律子	「中国の善鬼 江南の仮面劇から」『アジア遊学』第59号、59-67、2004年 「中国石郵村の追儺行事に登場する鬼と翁の身体技法に関する調査」『年報』第1号、46-54、2004年 「中国湖南省新寧瑶族『盤王節』調査報告」『年報』第2号、323-339、2004年
彭 国躍	「中国語の謝罪発話行為の研究 「道歉」のプロトタイプ」『語用論研究』第5号、日本語用論学会、2003年
山口 建治	「「散楽」の語義の変容 「散楽」日本伝来に関わって」『年報』第2号、136-142、2004年

3班

香月 洋一郎	「海人のむら民俗誌から(上)」『歴史と民俗』第20号、167-198、2004年、 「集落景観分析への一試論」『調査研究資料』第1号、1-76、2004年
北原 糸子	「災害の社会像」『1855 安政江戸地震報告』、中央防災会議、43-125、2004年 「地震の痕跡と『名所江戸百景』の新しい読み方」『年報』第1号、62-104、2004年(共著) 「災害と写真メディア 1894年庄内地震のケーススタディ」『調査研究資料』第1号、77-126、2004年
田口 洋美	「小国マタギ 共生の民俗知」、『農山漁村文化協会、2004年(共著)』
富井 正憲	「旧樺太(南サハリン)神社跡地調査報告」『年報』第1号、126-157、2004年(共著) 「旧南洋群島の神社跡地調査報告」『年報』第2号、239-322、2004年(共著)
中島 三千男	「旧樺太(南サハリン)神社跡地調査報告」『年報』第1号、126-157、2004年(共著) 「旧南洋群島の神社跡地調査報告」『年報』第2号、239-322、2004年(共著) 「海外神社跡地に見る景観の変容」『調査研究資料』第1号、161-215、2004年
八久保 厚志	「渋沢フィルムの図像解析とその応用」『年報』第1号、105-125、2004年(共著) 「写真資料と景観変容 澁澤フィルムの分析にむけて」『調査研究資料』第1号、127-159、2004年(共著)
浜田 弘明	『相模原市史 現代図録編』、相模原市、2004年(共著) 「『渋沢フィルム』の景観分析とその課題 朝鮮半島多島海を事例として」『年報』第2号、74-93、2004年 「写真資料と景観変容 澁澤フィルムの分析にむけて」『調査研究資料』第1号、127-159、2004年(共著)
増野 恵子	「明治中期の災害画像を考える メディア史の視点から」『年報』第2号、36-61、2004年
三鬼 清一郎	『愛知県史史料編11』(織豊1)、愛知県、2003年

4班

佐野 賢治	「“非文字資料”と地域社会 福島県只見町の民具保存活用運動」『年報』第1号、159-168、2004年 「納西族文化の象徴・東巴文字」『アジア遊学』第63号、64-72、2004年
青木 俊也	「生活再現展示をつくる思考 展示利用者調査の試行」『松戸市立博物館紀要』第10号、2003年
宇佐見 義之	『生物の形の多様性と進化』、裳華房、2003年(共著)
大里 浩秋	「上海歴史研究所蔵宗方小太郎資料について」『人文学研究所報』第37号、1-20、2004年
金子 隆一	“The History of Japanese Photography” Yale University Press,2003(共著)
橋川 俊忠	「近世能登・加賀に流通した書籍」『歴史と民俗』第16号、29-78、2000年
木下 宏揚	「電子図書館と情報セキュリティ」『年報』第1号、188-194、2004年
齊藤 隆弘	「デジタル画像処理による古い映像フィルムの修復とデジタルフィルムアーカイブの構築」『年報』第1号、169-187、2004年
孫 安石	「上海的無線広播と日語大東広播電台」上海市档案馆『租界里的上海』、上海社会科学出版社、121-130、2003年
田上 繁	「近世伊豆国伊東地域における山林利用について」『伊東市史研究』4号、45-75、2004年 『中世・近世土地所有史の再構築』、青木書店、213-244、2004年(共著)
中村 政則	「20世紀・日本史学史の里程標」『歴史評論』第646号、61-67、2004年 「自分史・地域史・国民史」『長野県飯田市地域史研究所年報』2、7-18、2004年 「歴史学という学問」『歴史民俗資料科学研究』第9号、25-33、2004年
能登 正人	「ノード負荷を考慮したモバイルエージェント間通信の制約充足モデルにおける評価」、『情報処理北海道シンポジウム2004、2004年(共同発表)』
的場 昭弘	『マルクスだったらこう考える』、光文社、2004年
丸山 宏	「宗教と中国 四川と雲南における彝族の民間信仰からの視点」『中国 社会と文化』第19号、中国社会文化学会、68-98、2004年 「納西東巴古籍訳注全集の資料的価値について」『年報』第2号、212-218、2004年